

広報

やすらぎ

No.77 平成28年11月15日発行

スマイルいつまでも

ぶなの園住民の健康を祝う集い



ぶなの園住民の健康を祝う集いが、9月21日に開催されました。第一部の式典では細井洋行町長はじめ多くの皆様より祝辞を頂戴し、祝電のご披露も。歳祝いを迎えられた方々のご紹介の後には、西和賀町、富士産業様、そしてやすらぎ会からの敬老記念品が贈呈されています。最後に住民を代表して高橋喜志雄さんから「本日の催しを糧にこれから頑張ってください」と力強いお礼の言葉がありました。第二部は祝賀会、乾杯で喉を潤しながら、新町保育所の子どもたち、鍵飯婦人会の方々による



細井町長から記念品を受け取る吉田八チ工さん

ステージを楽しみました。子どもたちは太鼓演奏や岩手国体にちなんでわんこ兄弟の踊りなど、元気いっぱい賑やかなステージ。鍵



元気いっぱいの新町保育所の子どもたち

飯婦人会の皆様は、しなやかな踊りと唄を披露してくださいました。最後の「長生き音頭」は職員もステージに上がって一緒に踊り、盛り上がりは最高潮。皆さんの生き生きとした笑顔で幕を閉じた、今年の「健康を祝う集い」でした。



住民を代表し感謝のことば



発表の方法にもそれぞれ工夫が見られました

「特別賞」に輝いたのはかたくりの園のチーム。テーマは認知症のある利用者様への支援の取り組みでした。審査員長の西和賀高校笠水上副校長からは、どの発表も素晴らしいと審査が難しかったと講評を頂戴しております。準備等の負担はありますが、得るものも多い有意義な発表会となりました。



カップを受け取るかたくりの園チーム

学び合うことが大事

～事例研究発表会～

9月29日、隔年開催の「やすらぎ会事例研究発表会」が行なわれました。職員が日々の業務の中で取り組んだことやその成果を発表し合うものですが、法人外部の方に審査をお願いして各賞を決定する

など厳正なる雰囲気。施設福祉課から2チーム、在宅福祉課から1チーム、かたくりの園から2チームが参加し、15分という持ち時間での発表です。チームによつて取り組んだテーマや視点がまったく違っていき、非常に興味深

秋を楽しむ会

「秋を楽しむ会」と銘打って、10月17日に住民の皆さんでいものこ汁を作りました。野菜の皮むき、カット、味付けなど職員と一緒に行ないましたが、家庭の台所を仕切っていた腕前は今も変わらず、手際よく調理が進みました。出来上がったいものこ汁は野菜たっぷりで、愛情たっぷりで最高の味。「食」で秋を堪能しました。



包丁さばきは慣れたもの

和賀川

45

施設長 平川 縫子

■相模原の障がい者施設の殺傷事件から3ヶ月がたつ。犯人のあまりにも猟奇的な考え方には今も背筋が凍る思いである。役に立たない人間はこの世に存在しないほうがいい。という異常ともいえる考え方である。■昨今このような弱者に対する虐待が後を絶たないのは、利益を最優先した生産性、効率性という世の中のゆがんだ価値観が原因ではないだろうか。■社会保障費の増加、それに追いつかないために強行される削減。医療、介護を必要としている多くの国民が、肩身の狭い思いをしなければならぬのが現実である。■私の母は様々な疾患のため、医療も介護も支援が必要になってきている。あの事件の後、母からの「役に立たなくなれば仕方ないのか」という一言が、ずっとずっと心にのしかかっている。

特養家族会 窓拭きボランティア

特養家族会の皆様には毎年、年末のボランティアとして居室清掃や窓拭きのご協力をいただいております。しかし、寒さと雪が作業の障害となるため、今年は10月16日(日)に実施していただきました。多くのご家族の方々がお越しください、職員の手が行き届かなかったところまで綺麗ピカピカに。この日は秋晴れの天気、皆さん汗だくになりました。お忙しいなか、本当にありがとうございました。



廊下の窓もピカピカに

やすらぎ会 文化祭

やすらぎ会の大きな行事の一つである文化祭が、10月29日(土)に開催されました。今年のステージは津軽三味線奏者の藤原翼さん(紫波町)、そしてシンガーソングライターのごんぢさん(横手市)の二組。藤原さんは各地の民謡のほかに沢内甚句も演奏してくださいました。



心のこもった作品がズラリ

り、会場では唄を口ずさんだり手振りをする方も。ごんぢさんは軽快なギターに乗せてオリジナル曲や歌謡曲を熱唱。澄んだ歌声とギターの響きが心地良いステージでした。午後は入所者、地域の方々、職員でおはぎを調理。蒸かした餅米を一口大に丸め、小豆をつけて出来上がり。きな粉やゴマの変わりダネもつくり、来場者の皆さんでおいしくいただきました。昨年引き続き開催した「ほっぴき大会」も大盛り上がりで、豪華景品をかけた親役とのやりとりは笑い声が耐えませんでした。心のこもった作品



ごんぢさんのステージ



おいしそうなおはぎ、早く食べたいナ!



つかんだ先に幸運あれ!

あたたかい
善意
を頂戴し厚くお礼申しあげます

平成28年9月1日
～10月31日

【ご寄贈】

- ・南川幸一様
- ・佐藤健一郎様
- ・吉田一男様
- ・石川隆男様
- ・藤田重信様
- ・西和賀町商工会女性部様

【ボランティア等】

- ・岩手県理容生活衛生同業組合
北上支部沢内地区様
- ・弁天婦人会様
- ・鍵飯婦人会様
- ・内の沢婦人会様
- ・泉沢婦人会様
- ・新町保育所様
- ・川舟保育所様
- ・せんだん保育所様
- ・どれみの会様
- ・趣味の会様
- ・高橋夕美子様
- ・高橋祐子様
- ・佐々木エリ子様
- ・高橋セツ様



あしあと

法人の主な動き

【9月】

1日 防災の日メニュー
課長会議
特養住民結核検診
出張理容
かたくり消火訓練
理容ボランティア
かたくり敬老会
(16日まで)
太田子ども神輿来園
入所検討委員会
住民の健康を祝う集い
秋の彼岸法要
事例研究発表会

【10月】

3日 課長会議
出張理容
ショートステイ家族懇談会
体育の日メニュー
老人介護ボランティア
家族会窓拭きボランティア
秋を楽しむ会
手打ちそばの日
法人内部監査
町医療介護研究発表会
買い物ドライブ
やすらぎ会文化祭
防災総合訓練



ご先祖様を敬う気持ちが伝わってきます
～秋の彼岸法要で焼香する特養住民～

編集後記

紅葉で色づく西和賀は日本の名所。どこからどう見ても美しく、そしてはかない。冷たい風が鮮やかな色彩をあつという間にくすませています。ここに住む人々は、山々の圧倒的な「美」を観るとき、迫り来る季節への覚悟を決めるのです。

やすらぎ会広報委員会

- 泉川 瞳 高橋栄子
- 中堰 香 丹波りか
- 高橋 涉

- 特別養護老人ホーム ぶなの園
- デイサービスセンター ぶなの園
- ホームヘルプステーション ぶなの園
- 西和賀介護相談室
西和賀町沢内字太田2地割135番地
電話0197-85-2322 FAX0197-85-2317
E-mail bunanosono@swc-yasuragikai.or.jp
- 高齢者生活福祉センターかたくりの園
西和賀町沢内字大野17地割140番地1
電話0197-85-3388 FAX0197-85-3389